

**特別支援学校・特別支援学級  
療育機関の先生を対象とした**

**ムーブメント  
ワークショップ**



「ムーブメント教育・療法」は、アメリカのマリアンヌ・フロスティック博士が、長年にわたる研究と実践の体系化を行ったものです。

日本では、日本ムーブメント教育・療法協会会長の小林芳文博士によって紹介されて以来、全国の保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校などで広く活用されています。

ムーブメント教育・療法は、子どもの自主性、自発性を尊重し、「動きたくなる環境」の中で、「からだ（動くこと）－あたま（考えること）－こころ（感じること）」の調和のとれた発達を図ります。楽しみながら体を動かすことで、運動機能、感覚機能を発達させていく方法で、音楽を使ったり、遊具を使ったり、様々な工夫が重ねられています。

今回は、ワークショップ形式で、楽しくムーブメント教育を学びます。

**日時 2011年10月9日(日) 10:00～12:00**

**会場 北海道教育大学釧路校 小ホール**

**講師 小林芳文氏**(日本ムーブメント教育・療法協会会長、和光大学教授)

**参加費 無料**

**※参加申し込みが必要です。**

**事前に、お名前と所属をお知らせください。**

問い合わせ・申し込み先(教育大・戸田竜也研究室)

メール [toda.tatsuya@k.hokkyodai.ac.jp](mailto:toda.tatsuya@k.hokkyodai.ac.jp)

FAX 0154-44-3218

**小林芳文先生 著書の紹介**

『LD 児・ ADHD 児が蘇る身体運動』(大修館書店、2001年)、『自立活動の計画と展開(全4巻)』(明治図書出版、2001年)、『医療スタッフのためのムーブメントセラピー』(メディカ出版、2003年)、『LD・ADHD・高機能自閉症児のコミュニケーション支援』(明治図書出版、2005年)、『ムーブメント教育・療法による発達支援ステップガイド』(日本文化科学社、2006年) など